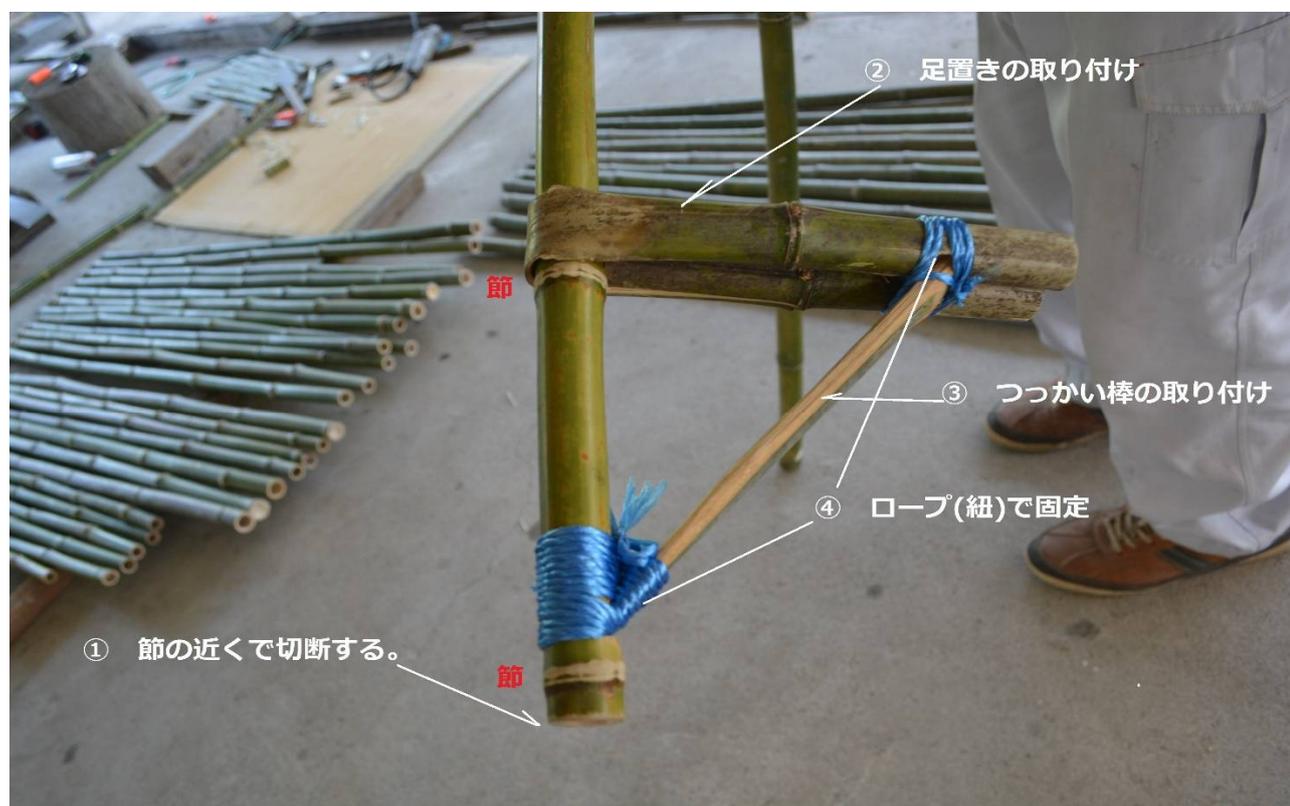




竹馬で遊ぼう！

堂園自治会の佐藤（恒明）さんと、石川（豊成）が、高田小学校の子供たちのために竹馬を作ってくれました。その匠（たくみ）の技を見てください。

竹馬の部材と手順



- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 1・竹の切断 | 身長に合わせて節の近くで切断する。 |
| 2・足置きの取り付け | 竹を熱湯につけ曲げやすくし、折り曲げて節の上に取り付ける。 |
| 3・つかい棒の取り付け | 本体と足置きの間につかい棒を取り付ける。 |
| 4・紐で固定する。 | 本体と足置き、つかい棒をロープ(紐)で固定する。 |

竹馬の作業手順

① 竹の切断をする

- A 身長に合わせ節で切断する。(今回 大中小の三種類)
- B 残りの竹で足置き、つかい棒の部材をつくる。
- C 竹を火であぶり、油抜きをする。

A (大中小の三種類)



B(使用部材)



竹の油抜き処理 (美観と長期保存のため)



※竹の油抜き

油抜きをすることで、竹表面の汚れも落ちてツヤが増し、完成後も美しさが長持ちします。仕上がった竹馬を見ると、まるでビニール塗料をコーティングしたかのように艶と竹の美しさがでてきていました。また、虫などの腐敗もなくなり、長期にわたって使えるそうです。

部材は油抜きをして日をおくと、茶色っぽくなります。

②足置き部の取り付け

足置きの部材を熱湯で曲げやすくし、節の上に取り付ける。

③つかい棒部の取り付け

ウマ本体と足置き部につかい棒用の穴をあけ、棒を差し込む

②足置き部の取り付け

曲げやすくするため、熱湯につけます(油抜きで色が変わっています)



③つかい棒の取り付け



④紐の巻き付け

接合部には接着剤を挿入し固定しています。



完成しました。

カッコいい！ 早く乗ってみたいなあ。



ぽっくりも作ってくれました。



佐藤さん、石川さん、ありがとうございました。

佐藤さん



左、石川さん

